

「温かい気持ちになれる映画でした」

「DIDの方のリアリティがしっかり描かれていて、すべての治療者に  
見ていただきたい映画だと思います」岡野憲一郎氏(精神科医)



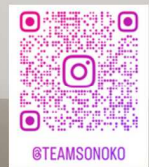
公式HP



X  
@team\_sonoko



Instagram  
@teamsonoko



# Team その子

解離性同一性障害（多重人格障害）を周囲に隠し日常生活を送る、その子。  
その子を守るために内部の人格達がそれぞれバラバラにおこなった行動が、周囲との摩擦を生み、  
その子を追いつめてしまう。人格たちとの葛藤と理解、そして和解の物語。

出演：野々村すずか 野崎紗矢 イワザキ 小林瑠衣 水野日頼 永野和哉 越智亮介 中島幸子  
監修：NPO法人レジリエンス 監督・脚本・編集：友塚結仁 44分 2023年

※この物語は、解離性同一性障害をかかえる方たちや、その周囲の方たちの経験を元に創作したフィクションです。特定の人物、団体等をモデルにしたものではありません。

この映画はReadyFor『解離性同一性障害(多重人格)への理解が深まる短編映画を作りたい』プロジェクトにご支援いただいた方々の協力により制作されました。

## アルザフォーラム2024協賛事業

### 新潟 上映会 & 「解離あるある」トーク

トーク： 中島幸子 ・ 友塚結仁  
(レジリエンス) (監督)

2024 **11/4** (月・祝)

**13:30~15:30**

(開場 13:00) 定員200名

参加費：500円

会場：新潟市万代市民会館 多目的ホール  
〒950-0082 新潟市中央区東万代町9-1

お申込み：10月28日(月)まで



←QRコードから入力フォームで入力。

または、裏面フォームにより  
FAXもしくはメールでお申し込み下さい。

お問い合わせ 女のスペース・にいがた

主催：  NPO法人 女のスペース・にいがた

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-18  
TEL 025-231-3012 FAX 025-231-3010  
E-mail fspace@piano.ocn.ne.jp http://os-niigata.com

共催：アルザフォーラム2024実行委員会・新潟市  
協力：NPO法人レジリエンス・ユニークワークス  
後援：新潟県・新潟日報社・朝日新聞新潟総局

当日参加も可能ですが、準備の関係上、  
できるだけ事前のお申込みをお願いいたします。



あらすじ

解離性同一性障害（多重人格障害）を周囲に隠し日常生活を送る、その子。その子を守るために内部の人格達がそれぞれバラバラにおこなった行動が、周囲との摩擦を生み、その子を追いつめてしまう。人格たちとの葛藤と理解、そして和解の物語。



## キャスト・スタッフインタビュー



野々村すずかさん  
「その子」役

実際にこの病に向き合っている方がいらっしゃり、その当事者の役を演じるということで、責任を感じました。失礼がないようにというのはもちろん、背景やお話を伺い、一つの歯車として役割を全うできるようにという気持ちでした。

その子は自分だけで作るものではなく、内部人格と一緒につくりあげていく作業でした。自分の中からだけでは絶対出てこないような表現や話し方を取り入れられるよう、他の人格を演じる皆の声や動きを見ながら取り組みました。皆と声をかけ合いながら進められたことも、とても心強かったです。その子としても、私自身も、周りのみんなの力をお借りして、完走することができた作品です。



中島幸子さん  
「カウンセラー」役・監修

子どもの頃に耐え難い、無力感を感じるような逆境を経験していると、意識が身体から離れる解離という手段を使って生き延びることがあります。解離する全ての人が解離性同一性障害になるわけではありませんが、解離を何度も経験すると、つらい記憶や体験を受け持ってくれる人格やパーツが分かれていき、解離性同一性障害の症状を抱えることがあります。私自身、解離性同一性障害の症状があるので、複数の人格が1つの身体を使いながら生きることの複雑さや困難を経験しています。周囲の人も影響を受けるため、この障害についての理解が非常に大切だと感じます。

解離性同一性障害に限らず、少しでも理解しようとしてくださる方が増えれば増えるほど、当事者にとって助けになります。ひとりでも多くの方にこの映画を見ていただければと思っています。



友塚結仁 脚本・編集・監督

20年ほど解離性同一性障害の方と一緒に仕事をする中で、この症状が知られておらず誤解されることも多く、日々の生活に困難を抱え、さらに傷つきを深めてしまっていることに気づきました。そこで、この障害についての情報を広め、かつ、障害に気づき受け入れる過程で内部の人格を理解し、チームとして歩み出すという、実際に多くの当事者の方が経験しているポジティブな希望を描きたいと考えました。

一人でも多くの方に見ていただき、DIDの症状を抱えながら懸命に生きている、現実社会の「その子」さんたちの応援団を増やしていけたらと思っています。皆さんのお力を貸していただければ幸いです。

## 参加申込書（FAX・メール用）

お名前	メールアドレス	連絡先お電話番号

FAX : 025-231-3010

E-mail : fspace@piano.ocn.ne.jp